

## シンポジウム抄録

北海道支部学術大会 第74回春季大会シンポジウム

### 『仕事から研究へ繋げる一歩とは？』

JSRTの基本的な活動は「研究」です。しかしながら、会員の多くは医療現場で働く診療放射線技師であり、そこでは放射線関連技術を実践し医療に貢献するのが役割となっています。また、常に新しい技術が医療現場に導入されるため、それらの知識や技術の習得も必要ですが、日常的には「研究」は業務とはなりません。ですが、放射線を扱う専門職として、線量の最適化や検査方法の見直し、より良い画質への追求など、臨床現場で考えるべき課題も多く、これらが「研究」の種となります。幸いにして、我々の身近には、このJSRTが存在し「研究」はすぐ手の届く所にあります。そこで、今回のシンポジウムでは、この「研究」を取り上げます。

座長：山口 隆義 学術企画委員長、中西 光広 MR 専門委員長

#### Program

1. 「研究で、日常検査の疑問を解決」
 

札幌医科大学附属病院	放射線部	今村 塁
北海道がんセンター	放射線診断部	齋藤 優一
遠軽厚生病院	放射線技術科	島崎 洋
  
2. 「いざ！倫理審査委員会へ」
 

手稲溪仁会病院	診療技術部	佐々木文博
---------	-------	-------
  
3. 「せっかくだから国際学会発表！」
 

北海道大学病院	放射線部	青池 拓哉
札幌心臓血管クリニック	放射線部	佐々木康二
  
4. 「君が論文を書く理由」
 

手稲溪仁会病院	診療技術部	板谷 春佑
---------	-------	-------
  
5. 「大学院って、どんなところ？」
 

札幌医科大学附属病院	放射線部	蝶野 大樹
------------	------	-------
  
6. 「大学の教育者として思うところ」
 

北海道大学大学院保健科学研究院		杉森 博行
-----------------	--	-------
  
7. ディスカッション